

国語科学習指導案（3年4組）

1 単元名 東京オリンピックに向けて「15歳の声」を伝えよう！

～複数の新聞記事から適切な情報を収集し、説得力のある文章を投書する～

教材名『説得力のある文章を書こう～批評文を書く』

『観点を立てて分析する』（光村図書：国語3）

2 考察

(1) 教材観

①学習内容：学習指導要領上の位置付け

・「C書くこと」：

ア「社会生活の中から課題を決め、取材を繰り返しながら自分の考えを深めるとともに、文章の形態を選択して適切な構成を工夫すること。」

イ「論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。」

・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」：(1) イ（イ）

「和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること。」

②伸ばしたい（身に付けさせたい）資質・能力

・観点を立てて、情報を分析・選択する力。

・複数の資料から適切な情報を引用して、説得力のある文章を書く力。

・目的や必要に応じて語句を使い分ける力。

③言語活動の設定と特徴

・言語活動例アの「関心のある事柄について批評する文章を書くこと。」を基に、本単元では、東京オリンピック・パラリンピックをテーマとし、招致決定の際の文章やリオデジャネイロオリンピックの新聞記事から、東京オリンピックに興味をもたせ、自分の思いを伝える新聞記事を観点を基に選択したり、記事の関連や自分との関わりを考えたりして、15歳だからこそ言える東京オリンピックへの思いを新聞に投書するという言語活動を設定する。

・先日リオデジャネイロオリンピックが開催され、2020年は東京開催であることは周知の事実である。生徒の関心が高いのはもちろん、新聞や雑誌等から多くの資料を見つけることができるため、オリンピックをテーマとして挙げた。多くの資料があることは、書き手の主観だけでなく、物事を客観的、分析的に見つめることになり、判断や評価の根拠を明確にするために、より適切な資料を選択することにもなる。

・新聞に投書することの特徴の一つとして、伝える相手が不特定多数であることが挙げられる。そのことは、多くの人に自分の考えを伝えるために、より分かりやすい文章を書けるよう心掛けることになる。その際、意見文や手紙文で学習した内容を想起させることにもなる。

④教材の特徴

・教科書では、一つの広告についてあらかじめ立てられた観点を基に分析するといった流れが練習の形で載せられ、「説得力のある文章を書こう」につなげている。

・論理の展開を工夫して書くことについて、モデル文を用いて、具体的なポイントを挙げてわかりやすく説明している。

(2) 本単元に関わる生徒の実態及び指導方針（男子15名、女子18名 計33名）

①既習の学習内容

・『社会との関わりを伝えよう』では、それぞれが社会生活の中で感じている課題のスピーチを行い、相手に説得力をもたせるための根拠について考えた。また、同一日の新聞を全員に用意し、新聞の特徴を知り、気になる記事を切り抜き、記事の要約と自分の意見を書く活動も行った。

・「魅力的な紙面を作ろう—修学旅行を編集する」では、「旅行新聞」として、B4版1～2枚の新聞を作成した。基本のレイアウトを基に、相手に見やすく分かりやすい新聞を意識して、見出しや図表の工夫をしてきた。

・俳句を創作する学習や『挨拶—原爆の写真によせて』の挿絵を選択する学習では、『君も表現名人になろう！』（本校国語科編）を用いて、よりの確な言葉を使えるようにした。

②実態及び指導方針

- ・生徒は今までの学習の様々な場面で、自分の考えを広げたり、深めたりするために、少人数（ペアや3～4人のグループ）での交流活動を繰り返し行ってきた。本単元の学習でも、少人数による交流活動の場面を設け、一人一人が活動する場面を保証し、意見交流の目的や方法を明確に示すことで、自分の考えを広げたり、深めたりできるようにする。
- ・「学習カード」を用意し、学習の見通しをつかみやすくする。授業のはじめに本時の課題を示し、本時の学習内容を明確にさせる。また、毎時間の授業の様子を「授業ダイジェスト」として模造紙大で掲示することにより、学習の積み重ねを視覚的に実感させる。
- ・授業の最後に本時で学習したことを振り返らせ、「学習カード」に記入させることで、身に付けた力を実感させるとともに、次時への課題を明確にさせる。
- ・公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会Webページに載せられた招致決定の際の文章（平成27年度全国学力・学習状況調査「国語B」大問2資料A）から、日本が誇る三つの強みをおさえることで、新聞記事を切り抜く際に目的にズレが生じないようにする。
- ・生徒に配付する新聞は、リオデジャネイロオリンピック開催中の新聞社や日付が違う二紙を用意し、生徒の切り抜き記事が合致することを避け、自分だけが伝えられる情報という意識を強める。
- ・観点を立てて複数の新聞記事を分析・選択したり、二つの記事に関連付けたりすることで、自分の主張したい内容について理解を深めさせ、意見を強く支える根拠とさせる。その際、観点は目的に応じて変わるものであることを意識させたい。
- ・選択した新聞記事の内容を踏まえて、自分自身がどのように関わっていけるかを考えさせることで、根拠として取り上げた新聞記事との関連付けをさらに考え、自分自身にしか書くことができない文章になることを自覚させたい。
- ・各自で考えた後に、ペア、小グループごと、および学級全体でのシェアを行うことで、生徒一人一人が自分の気付きと他者の気付きを比べ、共有できるようにする。
- ・ワークシートは、今までの学習した流れや自分の考えの変化が分かるようなものとし、今後、文章を書く際の参考になるものとさせたい。
- ・実際に投書文を各新聞社（東京新聞、毎日新聞、上毛新聞、産経新聞、朝日新聞、読売新聞）に投函することで社会に開かれた表現活動とする。封筒もしくは官製はがきを書く際は、基本的な手紙の書き方や縦書きや横書きの書き方等についてもおさえたい。

3 校内研究とのかかわり

研究主題「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ生徒の育成—各教科における『考え、表現させる』ための交流活動を通して—」に迫るために、本年度は、特に「明確な目的をもった交流活動の設定」、「学びの実感が確認できる振り返りの時間の設定」を重点として、研究が進められている。

そこで、本単元では、より説得力のある文章を書くために、「切り抜いた記事の内容を伝え合い、自分の考えを確認すること」、「複数の記事に関連付けたことについて意見を交わし、自分の考えを修正すること」、「互いの投書文を評価し合い、より説得力のある文章について考えること」を目的とした交流活動を設定した。グループの人数については、3～4人とし、一人一人が活動する場面を保証できるようにした。

また、振り返りの活動は、何を学んだのかを「学習カード」の振り返りの欄に毎時間記入することで、ゴールに近付くために、確実に力を身に付けていることを実感させていく。そのため、ワークシートは思考の流れが実感できるよう工夫する。

4 単元の目標

観点を基に複数の新聞記事を適切に選択し、論理の展開を工夫して、東京オリンピックへの思いを説得力のある文章で書くことができる。

5 評価規準及び指導の計画概要（全6時間予定）

評価規	国語への 関心・意欲・態度	・オリンピックに対する関心を深め、2020年東京オリンピック開催への思いを説得力のある文章で書こうとしている。
	書く能力	・適切な観点を基に、新聞記事を分析・選択し、それらを引用しながら、より説得力のある文章を書いている。 ・より説得力のある文章を書くための構成を考え、論理の展

時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動	関	書	言
		活用させたい知識等	思考力・表現力等				
準		開を工夫して書いている。					
		言語についての知識・理解・技能		・目的や必要に応じて語句を使い分け、語感を磨き、語彙を豊かにしようとしている。			
第1時 ～ 第2時	課題把握	・文章の形態を理解する力	・文章の内容を大まかにつかむ力	<ul style="list-style-type: none"> 五輪に関する記事、東京オリンピック招致の際のWebページの文章を紹介する。 「東京オリンピックへの思い」を新聞に投書することを知る。 リオ五輪開催中の新聞を読み、オリンピックへの関心を高める。 	○		
		・複数の文章を観点を基に比較して読む力	<ul style="list-style-type: none"> 観点を立てて資料を分析する力 自分の思いを伝えるのにふさわしい文章を選ぶ力 	(家庭課題…新聞記事の切り抜き) <ul style="list-style-type: none"> 切り抜きした複数の記事の中から周囲に伝えたいものを、適切な観点を基に分析し、二つ選択する。 二つの記事を選択した理由を伝え合う。 【交流活動】	○	○	
第3時 ～ 第5時	課題追究	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えを伝える力 他の考えを聞き取る力 	<ul style="list-style-type: none"> 複数の資料を関連付ける力 資料を適切に引用する力 	<ul style="list-style-type: none"> 二つの記事の共通点や相違点を見つけ、どのようなことが伝えられるかを考える。 二つの資料の関連付けを「情報シート」にまとめ、グループで伝え合う。 【交流活動】		○	
			<ul style="list-style-type: none"> 根拠を明確にして自分の考えをまとめる力 課題に対する考えを一層深める力 	《本時》 <ul style="list-style-type: none"> 選択した記事の内容を踏まえながら、自分がどのように関わられるかを考える。 観点を基に、互いの文章を分析し、より説得力のある文章にするアドバイスをする。 【交流活動】		○	
		・字形を整え、文字の大きさ、配列などを理解する力	<ul style="list-style-type: none"> 構成を考え、論理の展開を工夫する力 目的や必要に応じて効果的に文字を書く力 	<ul style="list-style-type: none"> 前時のアドバイスを基に、投書する文章を推敲する。 官製はがきの表面、裏面の書き方を確認し、文字の大きさや配置を意識して清書する。 		○	○
第6時	まとめ	・学習したことを一般化する力	・互いの表現を比較して、自分の表現に役立てようとする	・互いの投書文を読み、自身の書きぶりと比較し、今後自分の表	○	○	

		る力	現に生かせるポイントをまとめる。 【交流活動】		
--	--	----	----------------------------	--	--

6 本時の学習 (4/6)

(1) **ねらい** 選択した記事の内容を踏まえながら、自分自身がどのように関わられるかを考え、より説得力のある文章を書くことができる。

(2) **準備** 教師：教科書、学習計画表、評価シート、新聞、ワークシート、授業ダイジェスト
生徒：教科書、学習カード、情報シート、ワークシート

(3) 展開

学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び支援・評価
<p><本時の課題を把握する></p> <p>1 前時の「情報シート」に、自分の関わり方を加えることを知る。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・「学習カード」で既習事項を振り返り、本時のねらいを確認する。 ・前時にまとめた「情報シート」を確認する。
<p>【学習課題】選んだ記事の内容を踏まえながら、自分自身がどのように関わられるかを考え、より説得力のある投書文にしよう！</p>		
<p><課題を追究する></p> <p>2 「情報シート」を基にしながら、二つの記事の関連付けについて説明し合い、修正する。 【自分の考えを確かめる交流活動】</p> <p>みんなに説明をしてみたら、〇〇と△△の関連のところが上手に説明できなかったの、もう一度見直してみよう！</p> <p>〇〇と□□の関連は☆☆という言葉を使ったけれど、みんなの反応があまりよくなかったので△△という言葉に変えてみよう！</p>	10分	<p>【情報シートについて (前時までの活動)】</p> <p>① 選択した記事をそれぞれB4用紙に貼り、記事の内容について簡単にまとめる。</p> <p>② B4用紙を貼り合わせ、関連することについて線や○をつけ、共通点を考える。</p> <p>③ 二つの記事を通して、オリンピックのどのような良さが伝わるかをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ(時計回り)で、「情報シート」を基に、二つの記事がどのように関連するのか(キーワードやキーセンテンス、内容の要約等を具体的に提示して)説明する。 ・交流活動の目的は、「自分の考えを確かめること」であることを明確にする。 ・一巡したら、説明した時の相手の反応等から自分の説明を振り返り、色ペンで修正することを伝える。
<p>3 選んだ記事の内容を踏まえながら、自分がどのように関わられるかを考え、より説得力のある投書文にする。</p> <p>○2020年東京オリンピックに、自分がどのように関わられるかを書く。</p>	8分	<p>発問1…選んだ記事の内容を踏まえながら、自分がどのように関わられるかを考えてみよう！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ記事の内容や2020年の世の中や自身の姿を予想して、具体的に書くよう指示する。

○それぞれの文章を聞き、観点を基に評価し、アドバイスをする。
【互いの考えを評価し、考えを広げる交流活動】

記事は選手を支える周囲の愛について書かれているのに、自分が努力する内容になっているので関連が薄いかなと思います。



選手に喜ばれる会場にしたいのは分かるけれど、3年後、19歳の私たちがそこまでするのかが少し疑問です。



オリンピック選手を目指したいというのはいけれど、そのためにどんな努力をしていくのか、具体的に書いた方がよいと思います。



○アドバイスを基に、それぞれの文章をより説得力のある文章に推敲する。

通訳になる夢を実現するために、どんなことをどんなふうに頑張るか、未来を予想して具体的に書いてみよう。



記事と関連することの意識が少し薄かったと思う。オリンピックの応援を頑張るよりも、ボランティアに参加する方がいいかな。

・交流活動で使用する「評価シート」を配付し、観点を明確にさせてから書かせる。観点は、以下の通りとする。

- ・記事との関連があるか
- ・現実的な話になっているか
- ・具体的な行動が書かれているか

・イメージがわからない生徒に対しては、文章ではなく、思いつくことを箇条書きで書くようアドバイスする。また、第1時で書いたワークシートを参考にさせる。

15分

・グループ活動の目的は、「記事と自身の関わり方がつながっているか」であることを明確にする。

【交流活動の仕方】

①「情報シート」を見せながら、観点を基に自分の書いた文章を説明する。

②説明を聞いた後、

- ・「記事との関連があるか」
- ・「現実的な話になっているか」
- ・「具体的な行動が書かれているか」

の観点を基に、「評価シート」に4段階で評価し、簡単なアドバイスを記入する。

③「評価カード」を一斉に見せ、評価した理由とどのように修正すればよいかを話し合う。

*①～③を繰り返す。

・グループ活動が滞っているグループに対しては、具体的な例を挙げながら、アドバイスの観点を確認する。

7分

発問2…「評価シート」や交流活動のアドバイスを参考にして、自分の表現をより説得力のあるものにしよう！

・「評価シート」や交流活動のアドバイスから、どのアドバイスが取り入れられるかを考えさせる。
・文章を推敲する際は、消しゴムを使わず、線を引いたり、矢印を使ったりさせる。

・机間指導をしながら、推敲するのが困難な生徒に具体的なアドバイスをする。

【書】 選択した記事の内容を踏まえながら、自分がどのように関われるかについて、説得力のある



<本時のまとめをする>

4 本時の学習を振り返る。

○本時の学習を通して分かったこと、気付いたことを「学習カード」に書く。

<生徒の意識>

記事の内容と自分の関わり方を関連付けることは難しかったけれど、自分の関わり方を具体的に書くことによって、より説得力のある文章になったように思う。次回は清書をするけれど、たくさんの人に自分の文章を読んでもらいたい。

5分



- ・グループから学級全体の学習形態に机を戻す。
- ・「学習カード」で、本時のねらいと学習内容を確認し、学習を振り返らせる。
- ・授業の感想ではなく、どんな力が身に付いたか、この力はどのような場で活用できるか等を具体的に書くことを確認する。
- ・次時は、「情報シート」を基に文章をまとめ、清書することを伝える。